

## 奈良公園交通社会実験 結果速報

【実験前（10/26）と実験中（11/9）の比較】

### 1. 交通の変化

- ・ 市内への進入交通量はほぼ同じ、県庁東交差点の交通量は2割減少
- ・ 県庁東交差点北側流入部のみ渋滞が増加

### 2. 駐車場利用の変化

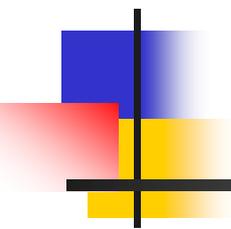
- ・ P & R 駐車場 国道24号高架下 232台（実験前30台）  
市役所 177台（実験前50台）
- ・ P & R 駐車場への誘導方法としては路上案内看板が最も効果的
- ・ 奈良公園周辺の駐車場も約1.5倍に増加（春日大社は減少）

### 3. バス利用者

- ・ 周遊バス 2日間 92便 合計2,542人  
うち電気バス 23便 合計 588人  
(P & R 駐車場シャトルバス 2日間 32便 合計937人)
- ・ ぐるっとバスの満足度は非常に高い

### 4. 歩行者数の変化

- ・ 仮歩道（県庁東～大仏前） 6,128人（実験前の2.3倍）
- ・ 若草山麓歩行者数 3,736人（実験前の1.2倍）



# 奈良公園周辺社会実験結果

<速報値>

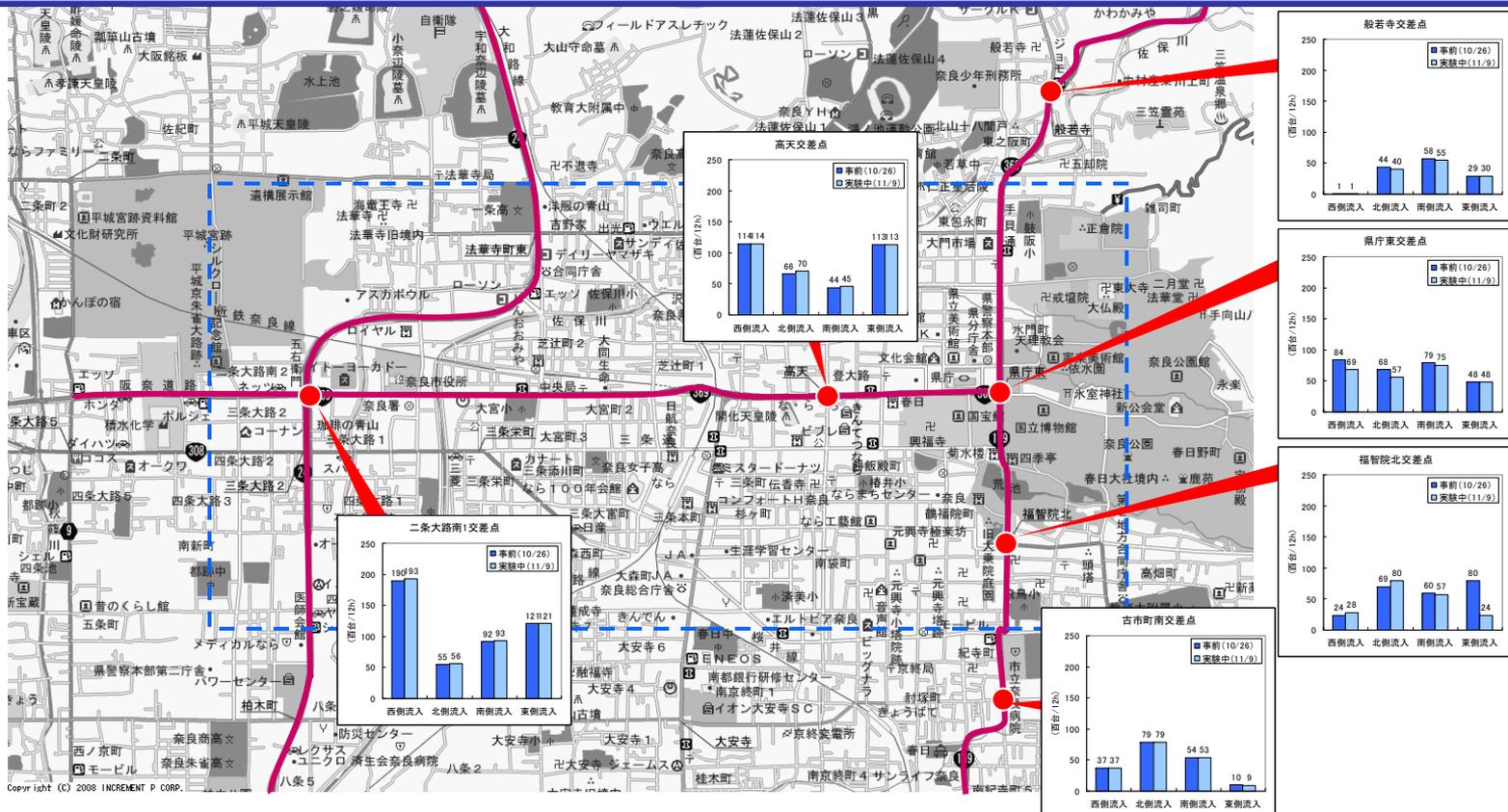
---

平成20年11月27日

# 1. 交通事象の変化

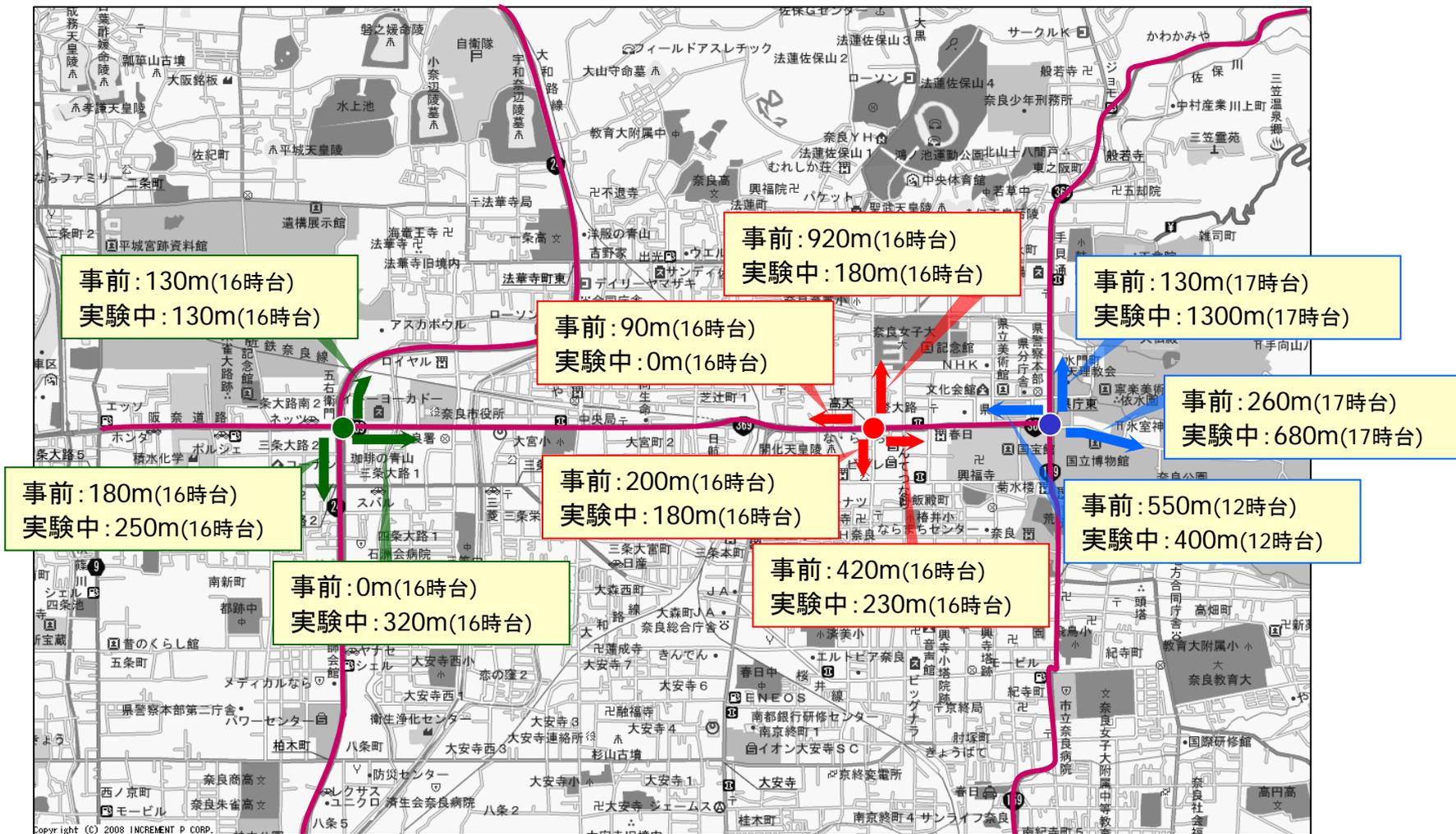
## 交通量の変化

- 実験前・中でエリア1への流入交通量に大きな差はないものの、県庁東交差点へ進入する交通量は2割程度減少
  - 観光客に関しては、県庁東へ進入前に、P&R駐車場や公園外駐車場を利用したことが想定
  - 通過交通に関しては、他ルートへの転換が図られたことが想定



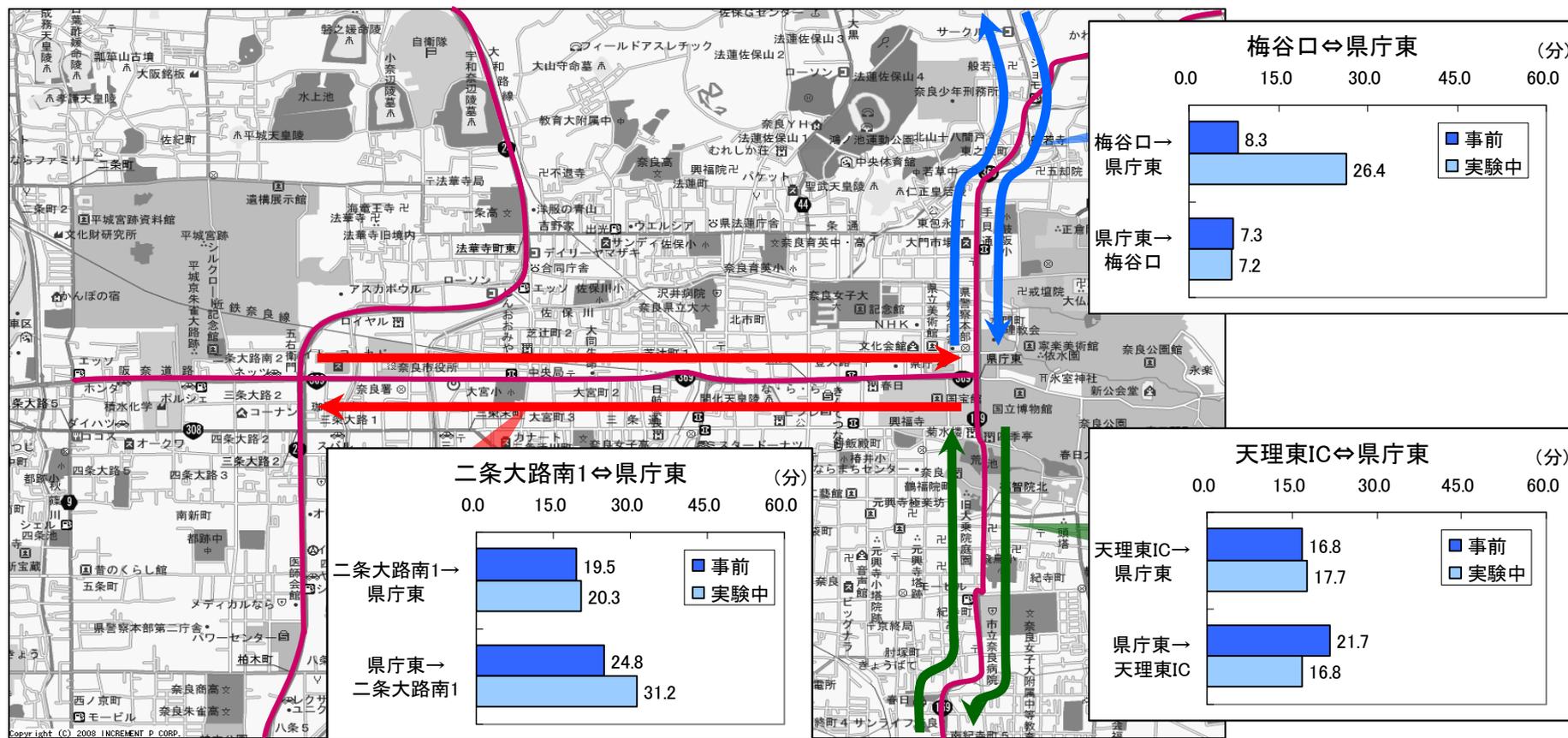
## 渋滞長の変化

- 最大渋滞長は県庁東交差点では北側・東側進入方向が増加しているものの、高天交差点では減少している
  - 県庁東交差点から西側への渋滞長は減少



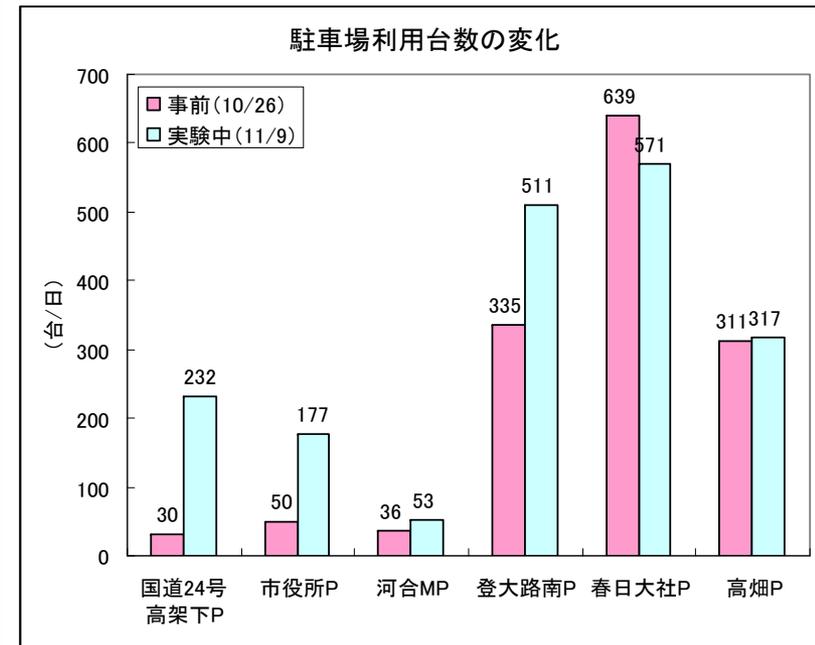
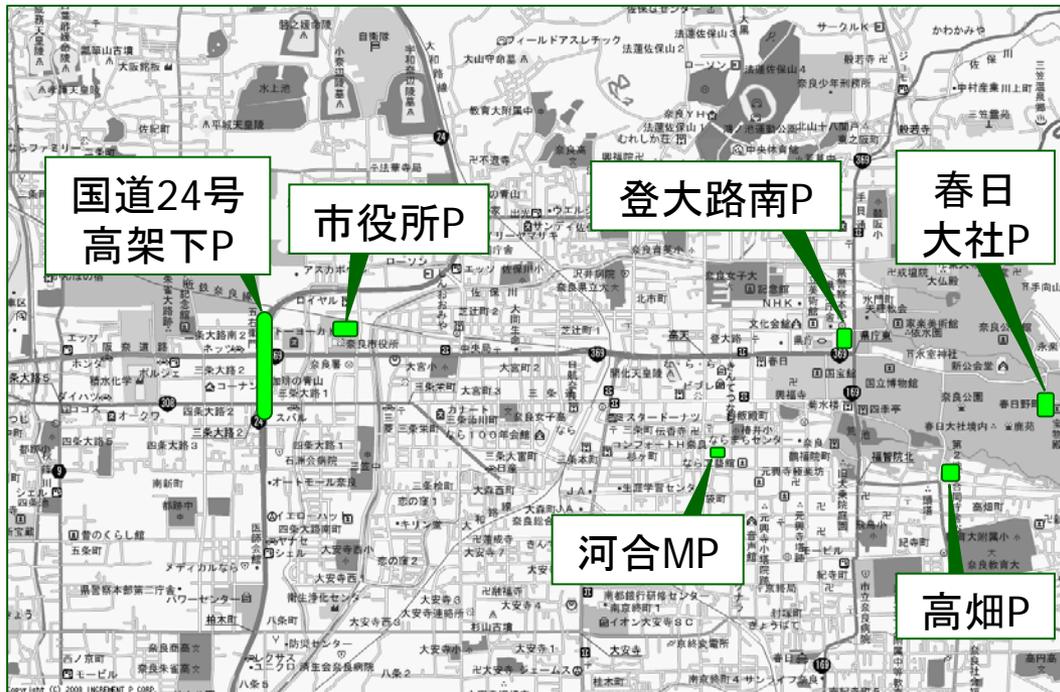
## 所要時間の変化

- 梅谷口から県庁東への所要時間が大幅に増加したことを除き、概ね実験前と大きな変化は生じなかった



## 2. 駐車場利用の変化

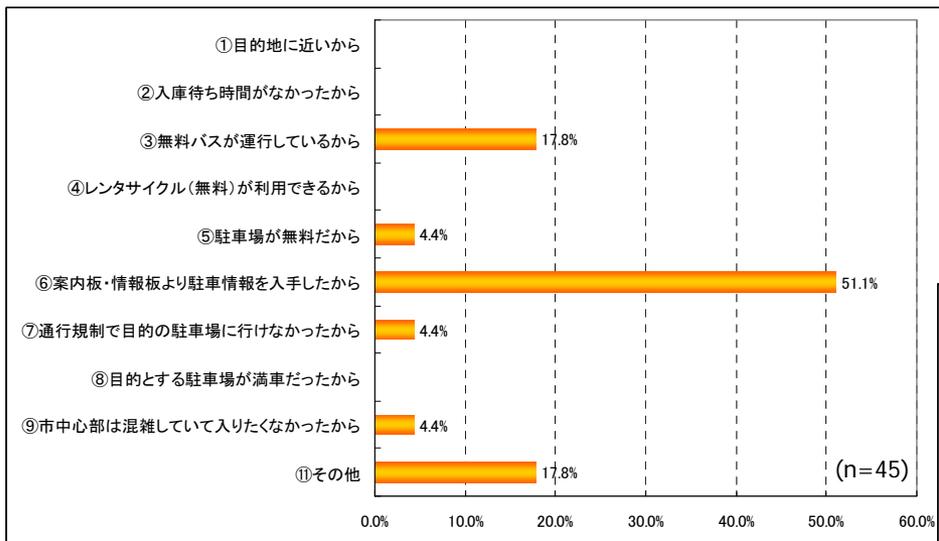
- パークアンドライド駐車場利用は大幅に増加
  - 国道24号高架下Pは202台増加、市役所Pは127台増加
  - 奈良公園周辺駐車場についても約1.5倍に増加
- 奈良公園内駐車場に関する増加は少ない



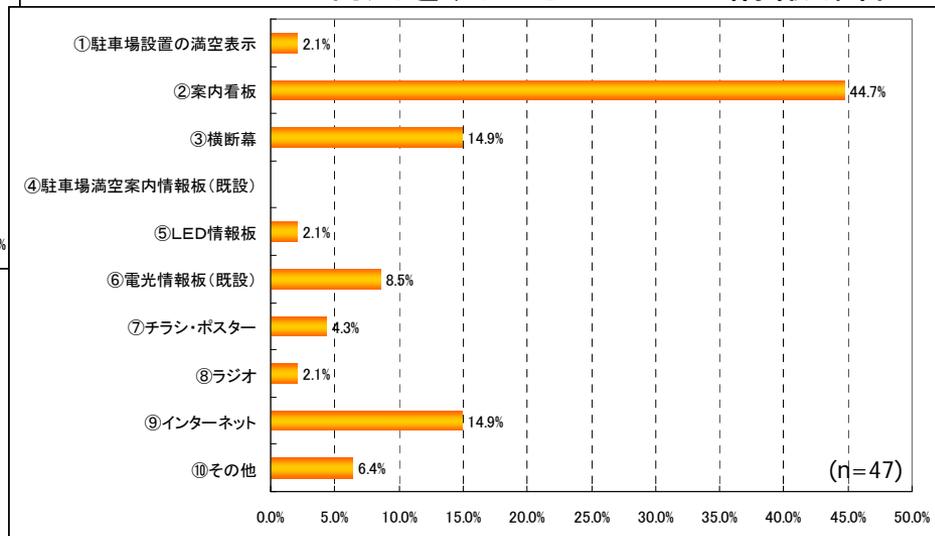
# ■ パークアンドライド駐車場利用した理由としては、案内看板により 駐車場情報を入手したことが最も大きな要因

- P&R駐車場利用に至った理由としては、駐車情報を入手したからが最も多く、ついで、無料バス運行情報が多い
- P&R利用を決めるに至った情報媒体は道路上の案内看板が最も多く、ついで横断幕が多い

## <P&R駐車場を選択した理由>



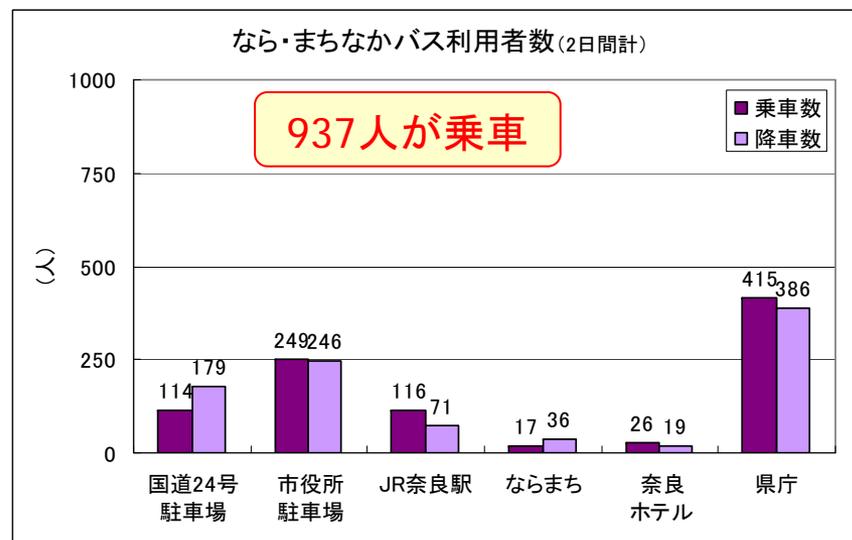
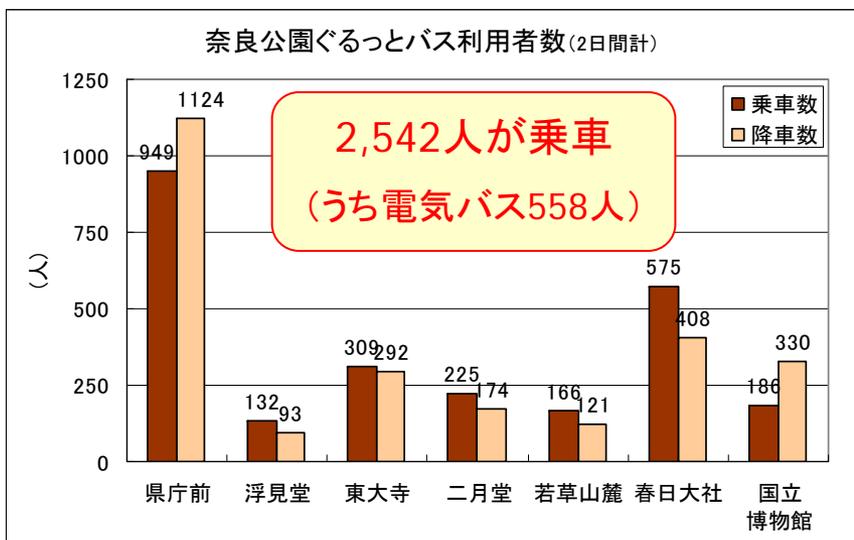
## <P&R利用を決めるに至った情報媒体>



### 3. 奈良公園ぐるっとバス利用者

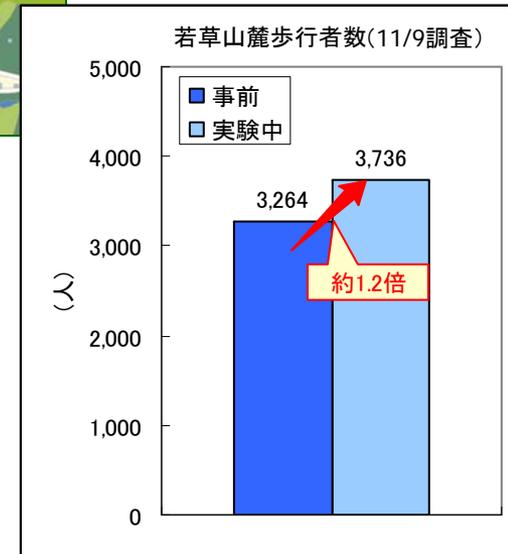
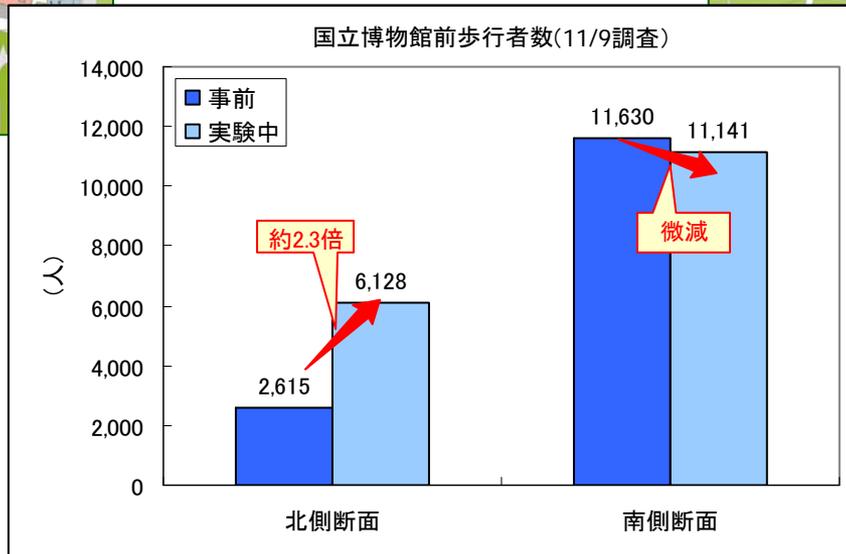
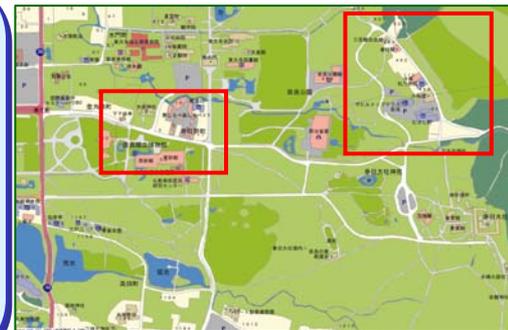
■ ぐるっとバスには2,542人(うち電気バス558人)、なら・まちなかバスには937人が乗車

- ぐるっとバスは春日大社をはじめ若草方面への利用が多い
- なら・まちなかバスはP&R駐車場から県庁までの利用が多い



## 4. 歩行者数の変化

- 仮歩道は6,128人が利用
  - 南側歩道の歩行者数は微減であるのに対し、北側（仮歩道）は約2.3倍増加
- 若草山麓歩行者は472人増加
  - 周遊バスの運行により観光客が増加したと想定

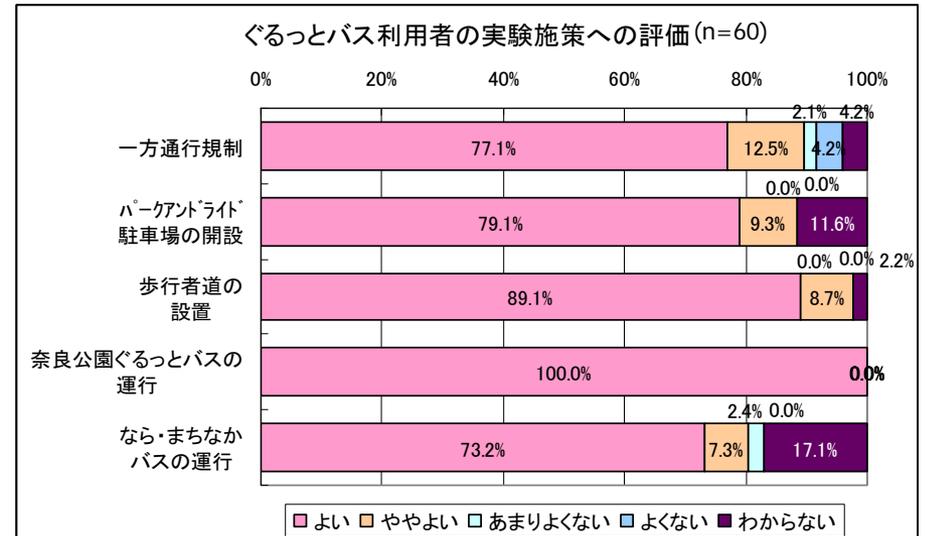
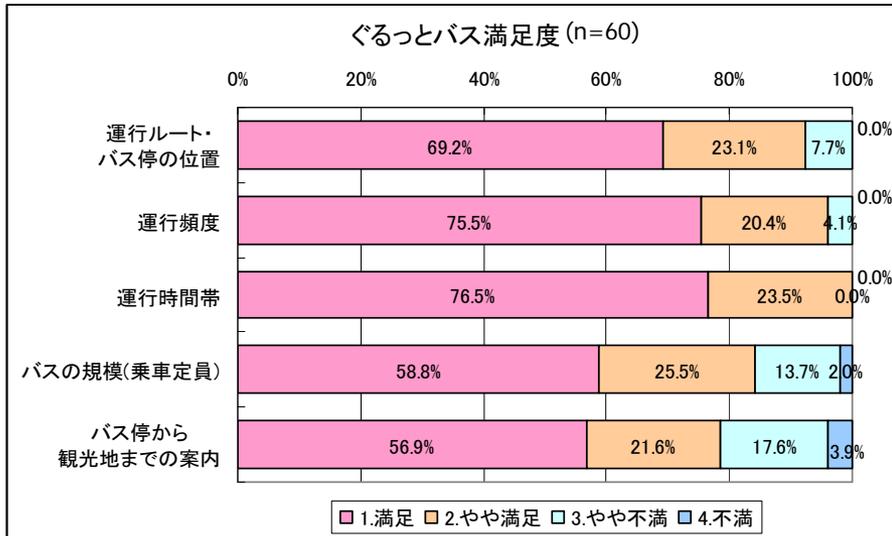


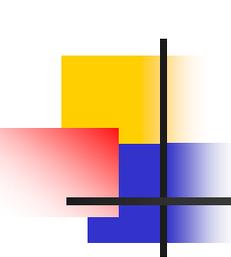
# 5. 奈良公園ぐるっとバス利用者

## ■ぐるっとバス運行形態に関する満足度は非常に高い

- 運行ルート・バス停の位置、運行頻度、運行時間帯については、9割以上の方が満足

## ■ぐるっとバス利用者の実験施策への評価についても、すべての施策に対して満足度が高い





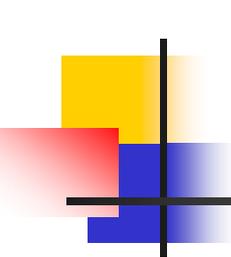
## 6. 実験運営に関する苦情と対応

### ■ 若草山麓地域への社会実験周知の不足

- バスが運行されること、歩車分離のためコーンが設置されることなど、認識されていなかった
  - コーンについては歩行者の移動に支障を与えかねないことから協議により1日目に撤去

### ■ 実験スタッフによる観光環境の悪化

- 歩行者の安全確保のため、スタッフの声による注意喚起を行った結果、地元商店よりクレーム
  - 2日目にスタッフを増員することにより、対応



## 7. 実験運営者からみた課題

### 【ぐるっとバスドライバーより…】

#### ■ バス停看板の両面化

- 車道部側からの確認ができなかったため

#### ■ 時計回りでの交通規制

- 県庁から最短で運行できるため

#### ■ 若草山麓区間運行の再考

- 観光客が非常に多く、鹿も多数いるので非常に危険なため

#### ■ バス停の順序の再考

- 春日大社を目的地とする利用客が多かったが、春日大社への停車順が遅いことから、回転率が低くなったと考えられるため

## 【実験運営スタッフより・・・】

- 観光客に対しても分かりやすい路線バスの行き先表示
- 迷走車両誘導員による空き駐車場情報提供のタイミング明確化
- 施設雇用ガードマン等との連携強化
- 四季亭～浮見堂前における一般車両通行禁止の徹底
- 高畑交差点から大仏前交差点における乱横断の抑制による安全確保
- スタッフ連絡の迅速化
- 看板表記の単純化と枚数の追加